

〔医師による講話〕

- 1 テーマ 薬物乱用防止教室
- 2 対象 6年生
- 3 医師 阿久津 吉男 医師(精神科)
- 4 実施月 11月
- 5 内容(キーワード)  
飲酒、喫煙、薬物の体への影響等について  
ゲーム依存等について



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\* 普段、話を伺う機会のない専門的な立場の医師よりお話していただくことで、児童もとても真剣に興味深く聞き入っていた。児童が自分ごととして捉え、これからの健康課題解決に向かうきっかけとなった。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\* 指導部会だけでなく、管理職や学級担任もふくめ、組織的に取り組むことができた。これからは連携して進めていきたい。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

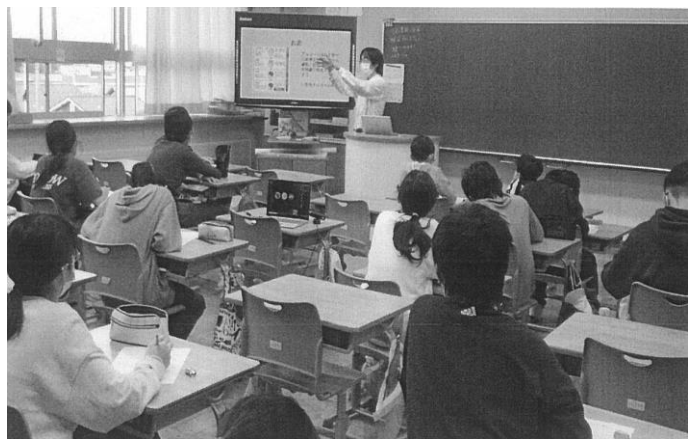
- 有効だった  
有効でなかった

<その理由>

\* 昨年度から阿久津先生に御指導をお願いしているが、今年度、また一層、児童に寄り添う指導をしていただけた。医療機関との連携もスムーズに、より深まったと思われる。講話以外にも、相談等連携できることを希望したい。

〔受講者の感想など〕

- 依存を予防するためのお話をいただき、本当にありがとうございました。
- お父さんがタバコを吸っているので教えてあげたいです。
- 依存しないために、人間関係や日々の一つひとつの楽しさを大切にしたいです。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 体育科 保健領域 病気の予防